## 地域密着型金融の取り組み状況(令和4年4月~令和5年3月)

## 【地域密着型金融の取り組み状況】

当組合は、地域密着型金融の推進を恒久的な取り組みとして捉え、「フットワーク」と「フェイス・トゥ・フェイス」を重視した営業活動により培われたお客さまとの信頼関係を大切にして、これまで蓄積した情報やニーズを活かした金融サービスの提供に努めています。今後も本来業務である預金と貸出金に特化したシンプルな経営を行い、「地元のお金は地元で活かす」をモットーに、中小企業の金融円滑化と事業性評価を通じて地方創生に取り組んでまいります。

## 地域密着型金融の具体的な取り組み項目

- (1) お客さまの創業・新事業・成長段階・経営改善支援・事業再生・事業承継の支援強化への取り組み
- (2) 担保・保証に過度に依存しない融資(中小企業に適した資金供給)への取り組み
- (3) 地域経済活性化への積極的な参画

コア業務純益、自己資本比率、不良債権比率等の主要数値目標を掲げ、「地域密着型金融の具体的な取り組み項目」について積極的に推進しています。 また、具体的な取り組みの進捗状況について、当組合のホームページやディスクロージャー誌上で公表しています。

当組合は「お客さま第一主義」の経営を実践していくために、お客さまのご意見を経営に反映するための「顧客満足度アンケート」を毎年実施し、店舗リニューアルやATMコーナーのサービス拡充などを進めてまいりましたが、今後もお客さまの利便性向上への取り組みを継続して行ってまいります。

## 【令和4年度地域密着型金融推進数值実績】

地域密着型金融推進による主要数値実績は、下記の通りです。

項目	前期(70期)実績	今期(71期)実績	対前期比
コア業務純益	110億41百万円	119億54百万円	9億13百万円
自己資本比率	10.07%	10.38%	0. 31P
不良債権比率	1.73%	1. 55%	Δ0. 18P

	取組内容	令和 4 年度推進状況
	じた取引先企業の支援の一層の強化	
創業・新事業支援	・公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金への参画 ・ひろしま中小企業支援ネットのパートナー金融機関としての参画 ・よろず支援拠点との連携	<ul> <li>① 公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金に平成19年度から参画し、役員と審査員の派遣と運用財産の拠出を行っています。</li> <li>② 平成24年11月に「経営革新等支援機関」の認定を受け、創業支援や新事業支援への取り組みを積極的に行っています。</li> <li>③ 中小企業者等への経営支援機能を補完・強化するため地域密着型金融の取り組みとしてひるしま中小企業支援ネットに参画しています。</li> <li>④ 相談先に悩む中小企業等の相談窓口として、販路拡大を始めとする様々な経営課題に対応し、相談内容に応じて、中小企業等への適切な支援機関の紹介や、支援機関において対応が困難な相談案件への対応等を実施する「よろず支援拠点」と連携して、支援体制の強化に努めています。</li> </ul>
	・創業・新事業の支援を目的とした 融資商品の推進	① 創業・新事業の支援を目的とした商品「創業支援ローン」の令和 5 年 3 月末の利用実績は7 件 12 百万円となりました。
成長段階支援	・成長事業への支援としての取り組み	① 成長事業の支援として「太陽光発電関連融資」「アグリ・農林事業者向け融資」等に取り 組んでいます。
経営改善支援	・経営支援先を選定し、本部と営業 店が一体となったお客さまの経営 改善支援	① 経営支援先として381先を選定し、中小企業診断士の指導の下で本部と営業店が一体となってお客さまの経営支援に取り組んでおり、令和4年度は8先がランクアップしました。
	・専門家派遣による経営改善の取り 組み	① 広島県内の専門家派遣事業を推進して、お取引先の経営改善・経営課題等の解決に積極的 に取り組んでいます。
事業再生支援	・広島県中小企業活性化協議会等、 外部専門家機関との連携による事 業再生	<ul> <li>① 「広島県中小企業活性化協議会」と連携し、現在 37 先のお客さまの事業再生に取り組んでいます。</li> <li>② 平成 24 年 5 月に建設企業の経営革新等を推進することを目的として「建設企業のための経営戦略アドバイザリー事業」に加盟しました。</li> <li>③ 県内中小企業者の経営改善サポートを強化するために設置され、定期的に開催される広島県中小企業支援ネットワーク会議に出席し、中小企業者のお客さまに対しての支援強化を推進しています。</li> <li>④ 広島県内企業の活性化に寄与すると判断し、平成 23 年 5 月「ひろしまイノベーション推進機構」からの要請を受け官民ファンドへ出資しています。</li> <li>⑤ 経営革新等支援機関(認定支援機関:税理士、中小企業診断士等)と連携し、現在 35 先のお客さまの事業再生に取り組んでいます。</li> </ul>

項 目	取組内容	令和 4 年度推進状況
	・「中小企業金融円滑化法」終了後の 取り組み	① 中小企業金融円滑化法は平成 25 年 3 月末で終了しましたが、貸付条件の変更等や円滑な 資金供給のご要望に、引き続ききめ細やかな対応をするよう取り組んでいます。 ② 中小企業金融円滑化法終了後の事業活性化を支援する取り組み商品として、平成 25 年 5 月に「事業活性化支援ローン」の取扱いを開始し、令和 5 年 3 月末の利用実績は 257 件 3,170 百万円となりました。
	・「新型コロナウイルス感染症」の影響拡大を踏まえた取り組み	<ul> <li>① 「新型コロナウイルス感染症」の影響拡大を踏まえ、貸付条件の変更や新たな資金需要等に、きめ細かくスピード感を持って対応しています。</li> <li>② 令和2年2月に「新型コロナウイルス関連対策ローン」の取扱いを開始し、令和5年3月末の利用実績は82件627百万円となりました。</li> <li>③ 令和3年5月まで取扱いをした「新型コロナウイルス感染症対応資金」(実質無利子・無担保融資)の後継として、「伴走支援型特別保証資金」を提案し借り換えにも対応しています。</li> <li>④ 令和2年5月に「学生応援ローン」、同年7月に「生活衛生同業組合員向けサポートローン」の取扱いを開始し、令和5年3月末の利用実績は合計で37件14百万円となりました。</li> <li>⑤ 令和2年5月から令和5年3月末までの貸付条件の変更実績は累計で6,274件となりました。</li> </ul>
事業承継	・「シシンヨービジネスクラブ」等を 活用した事業承継の支援	① 事業継承セミナーを令和4年4月に開催し、ビジネスクラブ会員にも案内をしました。 ② 外部専門家との連携を強化して、事業承継支援に取り組みます。

	項目	取組内容	令和 4 年度推進状況
		**,-**	
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
	担保・保証に過度	・キャッシュフローを重視し、過度	
	に依存しない融資	に担保・保証人に依存しない融資	
	などへの取り組み	商品である「スーパービジネスロ	
		ーン」、「ドリームローン」、「地域	
		創生支援ローン」ならびにカード	
		ローンなどの継続推進およびAB	
		Lの活用	② 平成22年8月からお使いみち自由で事業性資金・借り換えも可能なフリーローン「快速
			アシスト」の取扱いを開始しました。令和5年3月末の利用実績は63件65百万円となり
			ました。
			③ ABL (動産・売掛金担保融資)の活用を行っています。
			④ 平成26年2月1日より適用開始となった「経営者保証に関するガイドライン」について、
			適切な対応を行っています。
			⑤ 平成26年8月に発生した広島土砂災害の被災者および平成30年7月に発生した西日本豪
			雨災害の被災者を対象とした「シシンヨー災害復旧事業者ローン」および「シシンヨー災
			害復旧ローン」を取扱いました。また、令和3年8月の大雨被害にも上記のローンで被災
			者支援を行い、令和5年3月末の利用実績は17件137百万円となりました。
	企業の将来性、技	・企業の将来性、技術力を的確に評	   ① 中国ブロック信用組合協議会が主催する次の研修に参加しました
	近来の特末は、技	価できる目利き能力の向上のため	
	できる能力など、	各種研修参加による人材育成への	
	人材育成への取り	積極的な取り組み	企業再生支援研修 (令和4年6月 3名)
	組み		融資査定診断士育成研修 (令和4年9月 6名)
	利田の人		企業支援ランクアップ研修 (令和 4 年 11 月 5 名)
			2 全国信用組合中央協会等が主催する研修に職員を派遣しています。
			③ 外部講師による融資勉強会を毎月1回開催し、職員全体のスキルアップに取り組んでいま
			す。

項目	取組内容	令和 4 年度推進状況			
3. 地域の情報集積	責を活用した持続可能な地域経済への貢献				
地域活性化にがる多様なサスの提供	一ビ 見を反映した取り組み	にディスクロージャー誌上で回答の分析結果を公表しました。 ② 利用者満足度の向上に向けたアンケート調査の意見を反映し、令和4年6月に己斐支店を新築オープンしました。 ③ 店舗外へのATM設置を推進し利便性の向上に努めています。令和4年度は福屋八丁堀本店と広島市民病院に設置しました。			
	・地域の活性化につながる各種取り組み(地域貢献、環境問題、金融教育、多重債務者問題等)	<ul> <li>① 平成29年に創設した給付型奨学金「シシンヨーはばたき奨学金」は令和4年度も継続し、5月から今年度分の給付を開始しました。</li> <li>② 令和4年6月と8月に、竹原支店と荘野支店で中学生と高校生の職場体験学習に協力しました。</li> <li>③ 地域貢献の一環として令和4年7月マツダスタジアムで開かれたプロ野球「広島東洋カーブ×読売ジャイアンツ」戦のスポンサード・ゲームを開催し、役職員とその家族等を招待しました。</li> <li>④ 令和4年8月、12名の大学生をインターンシップ研修として受け入れ、金融業務を体験していただきました。</li> <li>⑤ 9月3日の「しんくみの日」にあわせ令和4年9月に献血運動を実施、役職員および近隣にお勤めの方など50名が参加し、40名の方に献血をしていただきました。</li> <li>⑥ ビジネスマッチングを取引先に紹介し、次のマッチングに参加しました。2022しんくみ食のビジネスマッチング展(令和4年10月~11月、オンライン商談会)第7回しんくみビジネスマッチング(令和4年11月、岡山)</li> <li>⑦ 令和4年4月、中国財務局の「多重債務相談」および「金融ほっとライン」のチラシを営業店に備え置き、広報しました。</li> <li>⑧ 令和4年8月、法務省からの依頼を受け、「あなたと家族をつなぐ相続登記」についてデジタルサイネージ、チラシで広報しました。</li> <li>⑨ 令和4年11月、広島市経済観光局の依頼を受け、「ビジネスフェア中四国 2023 出展者募集」のリーフレットを営業店に備え置き、広報しました。</li> <li>① 令和4年11月、広島市経済観光局の依頼を受け、「ビジネスフェア中四国 2023 出展者募集」のリーフレットを営業店に備え置き、広報しました。</li> <li>① 令和4年11月、厚生労働省からの依頼を受け、「年金生活者支援給付金制度」のチラシ等を営業店に備え置き、広報しました。</li> </ul>			

項	目	取組内容	令和 4 年度推進状況
		・大学教育を通じて、地域社会と中 小企業金融の発展、ならびに、教 育支援や人材育成に貢献する取り 組み	① 令和4年3月、当組合理事長が広島修道大学の特別客員教授に再任されました。 ② 平成21年度からの取り組みである産学連携は、令和4年度も継続して実施しており、理事長が令和4年7月に広島経済大学で講義を行いました。